

臨床検討会のお知らせ 「臨床に関するさまざまのこと話しませんか?」

- ◆日時:毎週木曜日 21時00分~22時00分
- ◆コーディネーター:西村亮輔
- ◆型式:Zoomアプリを使用した検討会
- ◆参加費:無料
- ◆参加方法:事務局にお電話もしくはHPにてお申し込み
- ◆参加資格:鍼灸マッサージ師、医療職、介護職、学生等
- ◆定員:50名 ※定員になり次第終了
- ※申込後、Zoom IDを送付いたします。

【コーディネータープロフィール】
◆鍼灸師 あんま・マッサージ・指圧師
◆千葉県鍼灸マッサージ師会 理事
◆千葉県鍼灸マッサージ協同組合 副理事長

その他 当会の予定

- 1月29日(日) スキルアップ研修会
「若手あはき師を巻き込むには?」
講師:高山耕輔先生
(セラピストキャンプ代表)
 - 2月未定(日) スキルアップ研修会
「ケアマネと連携するには?」(仮)
 - 3月18日(土) 学術研修会
「私と鍼灸」(仮)
講師:今井俊哉先生
(千葉県医師会副会長)
- ※新型コロナウィルスの感染状況により、開催方法の変更、もしくは休止とさせて頂くことがございます。

ToDoRoki

千葉県鍼灸マッサージ師会会報 とどろき

topics

- 新年のご挨拶
- 学術の窓
- 活動報告
- お知らせ



新年、
あけまして、
おめでとうござります。

\ 会員ログインページのお知らせ /

会員の皆様のみご利用できる会員ログインページのご案内です。
当ページにて、無料の動画等がご視聴になれます。
会員ログインページは当会HP右上のログインから入ることができます。ログインIDならびにパスワードについては、事務局へお問い合わせください。



公益社団法人
千葉県鍼灸マッサージ師会

〒284-0005 四街道市四街道1-3-13 山一ビル202

TEL/043-301-3489 FAX/043-301-3499

<http://www.harikyumassage.jp>

発行責任者 石川英樹 編集責任者 西村亮輔

会員の皆様へ

会長 石川英樹より

新年のご挨拶

謙感利 虛謝他



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様にはおかげましては、健やかに新春を迎えたことと、お慶び申し上げます。

もういい加減に聞き飽きた新型コロナウィルスの再流行ですが、とうとう第8波に突入してこの挨拶文を書いている時点でも感染者が徐々に増えています。

新型コロナウィルスは寒くなると活発になるという特性があり、それを裏付けるように寒冷地の北海道から感染者数が増え、いまや全国各地で増加傾向を示すようになっています。

会員の皆様も更に感染症予防対策に力を入れて、またご自身の体調管理にも十分に気を付けてください。

さて、昨年のあいさつで「壬寅は陽気を孕み、春の胎動を助く、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年になるといわれています」と書かせていただきました。

全国の鍼灸マッサージ市場的にはその通りになると予測されています。

鍼灸マッサージ市場規模は2019年で4,910億円、新型コロナウィルスの影響が最も強かった2020年が4,720億円、2021年は前年より3.6%増えて4,890億円となっています。

このままの推移だと2022年は5,000億円に到達していたかもしれません。(2022年調査結果の公表は2023年夏頃の予定)しかし治療院間での格差も広がっており会員の皆様の中には実感できないという方も多いと思われます。

今年はその格差を解消するために千葉県鍼灸マッサージ師会では何ができるのかを模索し続けています。

では、ここから毎年ほぼ恒例となっている干支で時代を振り返ってみたいと思います。

1879年 明治12年 エジソンが白熱電球を発明
1891年 明治24年 日本鉄道上野・青森間開通
1903年 明治36年 ライト兄弟が人類初の動力飛行に成功
第1回大会ツール・ド・フランス開催
1915年 大正4年 第1回全国中等学校優勝野球大会(後の全国高等学校野球選手権大会)が大阪府の豊中球場で開幕
1927年 昭和2年 健康保険法施行、給付開始。
上野・浅草間に日本最初の地下鉄(現・銀座線)が開通
1939年 昭和14年 NHKが有線によるテレビ実験放送を公開
第二次世界大戦勃発 日本で国民徵用令公布
1951年 昭和26年 ユネスコ、日本の正式加盟承認
日本とアメリカ合衆国との間の安全保障条約締結
1963年 昭和38年 『鉄腕アトム』放映開始
大阪駅前に日本初の横断歩道橋設置

日清食品が「日清焼そば」を発売

1975年 昭和50年 『サザエさん』放送開始 マイクロソフト設立
1987年 昭和62年 世界の人口が50億人突破
ニューヨーク株式市場が大暴落(ブラックマンデー)。
1999年 平成11年 €(ユーロ)が国際金融市場に会計通貨として導入される。
マカオがポルトガルから中国に返還される
パナマ運河がアメリカ合衆国からパナマに返還される
2011年 平成23年 東日本大震災 地上デジタルテレビ放送へ全面移行

今年の干支である「癸卯」は、「これまでの努力が花開き、実り始めること」といった縁起のよさを表しているといわれています。

過去の歴史を振り返ってみると良いことも悪いこともウサギのジャンプのように大きく新しい事象が数多く見られます。

昨年はウィズコロナ時代に何ができるかを考えながら行動するという方針でしたが、思った以上に新型コロナウィルスの影響は深刻でした。

本来であれば既に発出されていたはずの「あはき広告ガイドライン」は2022年ついに1度も検討会が開催されませんでした。

また、変異株は今でも猛威を振るっており、感染症法の分類においては2類のままでです。

今年は干支である卯(うさぎ)のように今までの数年

間から大きく「飛躍」し、私達<あはき師>の存在意義を大きく「向上」させる年にするべく活動していくたいと思います。

会員の皆様におかれましても今までの努力が報われるなら、まさに今年だと思います。

もし努力が足りなかったなと思われる会員がおられましたら旧暦の正月(2月3日)まで更なる努力を続ければ必ず報われると信じて行動してください。

皆様の技術力向上、知識・見識・胆識の向上が千葉県鍼灸マッサージ師会の更なる発展に繋がり、その事が県民の「あはき」受療率向上、そして健康長寿に繋がっていきます。

最後になりますが、今年は会員の皆様の治療院が兎の上り坂のように順風満帆に回るように、理事一同、「脱兎の勢い」で各事業に邁進します。

また、「兎に祭文」とならぬよう会員の皆様のご意見に耳を傾けて活動してまいります。

今年は千葉県鍼灸マッサージ師会創立80周年式典を12月に開催する予定ですので、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

千葉県鍼灸マッサージ師会
会長 石川英樹



バイオエナジエティクス 一心身の健康体操— とはなんぞや？

元吉 正幸 Masayuki Motoyoshi

南風堂鍼灸治療室院長。
千葉県鍼灸マッサージ師会学術部長を長年に
わたって勤め上げる。学術に人方ならぬ情熱
を持っている。

みなさんは「バイオエナジエティクス—心身の健康体操—」という本をご存じだろうか？

著者はアレクサンダー・ローエン、訳者にして、日本に広めたのは石川中(ひとし)である。

石川氏は1925年生まれで東京大学心療内科助教授・教授務めた人で、その頃に日本の心療内科を創始した池見西次郎氏とともに日本の心療内科に発展に寄与した人である。

石川氏は、池見氏が「生体エネルギー療法」として日本に紹介したローエン著の「バイオエナジエティクス」を訳し、日本に広めた人でもある。

この著書は、精神分析の創始者、無意識に発見者といわれる、ジグムント・フロイト、の弟子であったライヒが、「心に葛藤のあるものは身体が鎧のように硬くなっている」ということを発見し、フロイトの精神分析学会から異端として除名された発端となった。

ライヒはある日、顕微鏡で細胞の観察中、細胞の周りに光るものを見て、これが生体に有利に働くものとして、それを「オルゴンパワー」と命名した。

その「オルゴンパワー」というエネルギーを発生させる「オルゴンボックス」などを作成し、民間に販売したこと、インチキ商法として投獄され獄中で人生を終えた。

ライヒの弟子である、アレクサンダー・ローエンは「心のあり様で身体が鎧のように硬くなることから、「身体の硬さを取れば、心身の健康が得られる」と考えた。

池見氏の著書では、テニスラケットで、ベッドを思いきり叩く写真が紹介をしているが、石川氏が翻訳したローエン著の「バイオエナジエティクス—心身の健康体操—」は102の練習項目がある身体技法が掲載されている。

石川氏はこれを20世紀に生まれた「動的なヨーガ」と呼ぶべき心身の鍛錬法であると述べている。

さらに石川は、この方法が、東洋的な方法に達していると考えた。

ローエンの「からだも心も機能的には同じものである」ということから、デカルト的二元論の考え方の根強い文化圏にあってこの域にまで達することは真に革命的と述べている。

詳しい方法はこの紙面では述べないが、はじめの基本練習を紹介する。

「立位から身体を前屈し、床に手をつける動作をすると膝の後ろの筋肉が張り、そのままの姿勢を保持すると膝の後ろの筋肉が気刻みに震える」というものがある。

これを「バイブルーション」と呼ぶ。

出にくい場合は前屈のままで、少し膝を曲げたりまた伸ばしたり何度かしていくと、「バイブルーション」が起こる。

その体験が筋肉のリラクセーションをしていくのである。

また、「身体を前屈の時、地面を足裏に根が張るように、地面と足裏がつながっていることを感じる」ことを「グラウディング」と呼び、日本語では「根づき」と訳されている。

このような体験で「身体の感覚に気づくとき、心の状態の気づきにもつながる。

体が緊張しているときは、呼吸が浅い、止まっていることもある。

つまり「失感情症」や「失体感症」などの心身症の本質は、身体の硬さにつながる筋肉の不当なエネルギーによる過緊張状態なのである。

そして、そのエネルギーの発散方法が、「バイオエナジエティクス—心身の健康体操—」の技法である。

池見氏、石川氏ほ両氏は、この著書を訳し日本に広めることで少しでも人々の役に立つよう願ったのである。

関東甲越ブロック協議会in群馬 【参加報告】

令和4年9月25日に、群馬県伊香保市にて、関東甲越ブロック協議会in群馬が行われました。

当会理事数名が参加いたしましたので、ご報告いたします。コロナ禍ということもあり、会場とオンラインのハイブリットでの開催でした。

基調講演では、テレビでもお馴染みの日本医師会常任理事の釜范敏先生が「新型コロナウィルス感染症の状況と今後の医療について」とても貴重な情報を提供していただきました。

その後の協議会にて、各県の状況や活動報告が行われました。当県もコロナ禍でのオンラインセミナーなどの取り組みを発表させて頂きました。

東洋療法推進大会in埼玉 【参加報告】

令和4年10月23日(日)24日(月)に、埼玉県熊谷市にて東洋療法推進大会in埼玉が開催されました。

当会理事数名が参加いたしましたので、ご報告いたします。

今回は「変えよう!変わろう!将来の鍼灸マッサージ業界」がテーマで、コロナ禍ということで、会場とオンラインのハイブリットで開催されました。

特別講演(一般公開講座)として、帯津良一先生が「心と身体の健康と養生～医療の将来展望～」をテーマにご教授くださいました。

シンポジウム(1日目)は「あはき業界の現状と課題」を、シンポジウム(2日目)は「変えよう!変わろう!将来の鍼灸マッサージ業界」について、会場、オンラインを含め、全国の鍼灸マッサージ師会の先生方が情報共有し、業界の未来について議論しました。

当県理事からも意見並びに全日本鍼灸マッサージ師会への提案をさせて頂きました。全国の先生と交流が出来、とても有意義な大会となりました。

地域代表者会議の報告

令和4年12月4日に、地域代表者会議が行われました。

コロナ禍にもかかわらず、多くの地域の代表に集まっていたいただき、有意義な話し合いになったと思います。

コロナ禍になり3年、各地域の状況は厳しさは相変わらずですが、多くの地域でコロナ禍に合わせた活動を始めています。

各地域の現状を共有し、各支部の今後の活動計画やあり方について意見交換を致しました。

令和4年度第1回学術研修会の報告

令和4年度の第1回目となる学術研修会を、令和4年12月18日(日)の10時から16時にかけて、会場とオンライン(Zoom)のハイブリットにて行いました。

学生さんを含む多くの方が参加してくれました。
内容は下記の通りです。

【午前の部】10時～12時10分

元吉正幸 先生 (当会学術部長)

演題1:ボディワーク理論

演題2:臨床動作法

【午後の部】13時から16時10分

山口創 先生 (桜美林大学リベラルアーツ学群 教授)

演題3:皮膚感覚と痛みの基礎知識

演題4:身体接触の基礎と実践

午前の部では、当会の元吉学術部長が、鍼灸マッサージ師がどのように臨床動作法を取り入れたら良いのか、実技を含め講義しました。

午後の部では、山口先生が鍼灸マッサージがなぜ効くのかを身体感覚の理論をもとにとてもわかりやすくご教授していただきました。